

主日礼拝

2024年01月28日
午前10時30分前奏 「深き淵より、われ汝を呼ぶ」
(G.バーム)

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「初めからのことを思い出すな。
昔のことを思いめぐらすな。
見よ、新しいことをわたしは行う。
今や、それは芽生えている。」 (イザヤ書 43:18-19a)

頌栄 27 「父・子・聖霊」

ち ち 子 せ い れ い の ひ と り の 主 よ、 さ か え と ち
か ら は た だ 主 に あ れ、 と こ し え ま で。

アーメン。

交読詩編 130:1~8

司式者：深い淵の底から、主よ、あなたを呼びます。
主よ、この声を聞き取ってください。

会衆：嘆き祈るわたしの声に耳を傾けてください。

司式者：主よ、あなたが罪をすべて心に留められるなら
主よ、誰が耐ええましょう。

会衆：しかし、^{ゆる}赦しはあなたのもとにあり
人はあなたを畏れ敬うのです。

司式者：わたしは主に望みをおき
わたしの魂は望みをおき

会衆：御言葉を待ち望みます。

司式者：わたしの魂は主を待ち望みます
見張りが朝を待つにもまして

会衆：見張りが朝を待つにもまして。

司式者：イスラエルよ、主を待ち望め。

会衆：慈しみは主のもとに
豊かな^{あがな}贖いも主のもとに。

一同：主は、イスラエルを
すべての罪から^{あがな}贖ってください。

祈禱

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

賛美 32 「キリエ・エレイソン」

キ リ エ エ レ イ ソ ン キ リ エ エ レ イ ソ ン
し ゅ よ あ わ れ み を し ゅ よ あ わ れ み を
キ リ エ エ レ イ ソ ン
し ゅ よ あ わ れ み を

キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン
しよよ、あわれみを しよよ、あわれみを しよよ、あわれみを

聖書 ヨハネによる福音書 8:21~36

新約(新共同訳) P181~P182

21 そこで、イエスはまた言われた。「わたしは去って行く。あなたたちはわたしを捜すだろう。だが、あなたたちは自分の罪のうちに死ぬことになる。わたしの行く所に、あなたたちは来ることができない。」 22 ユダヤ人たちが、「『わたしの行く所に、あなたたちは来ることができない』とやっているが、自殺でもするつもりなのだろうか」と話していると、 23 イエスは彼らに言われた。「あなたたちは下のものに属しているが、わたしは上のものに属している。あなたたちはこの世に属しているが、わたしはこの世に属していない。 24 だから、あなたたちは自分の罪のうちに死ぬことになる」と、わたしは言ったのである。『わたしはある』ということ信じないならば、あなたたちは自分の罪のうちに死ぬことになる。」 25 彼らが、「あなたは、いったい、どなたですか」と言うと、イエスは言われた。「それは初めから話しているではないか。 26 あなたたちについては、言うべきこと、裁くべきことがたくさんある。しかし、わたしをお遣わしになった方は真実であり、わたしはその方から聞いたことを、世に向かって話している。」 27 彼らは、イエスが御父について話しておられることを悟らなかった。 28 そこで、イエスは言われた。「あなたたちは、人の子

を上げたときに初めて、『わたしはある』ということ、また、わたしが、自分勝手には何もせず、ただ、父に教えられたとおりに話していることが分かるだろう。29 わたしをお遣わしになった方は、わたしと共にいてくださる。わたしをひとりにしてはおかれない。わたしは、いつもこの方の御心に適うことを行うからである。」30 これらのことを語られたとき、多くの人々がイエスを信じた。

31 イエスは、御自分を信じたユダヤ人たちに言われた。「わたしの言葉にとどまるならば、あなたたちは本当にわたしの弟子である。32 あなたたちは真理を知り、真理はあなたたちを自由にする。」33 すると、彼らは言った。「わたしたちはアブラハムの子孫です。今までだれかの奴隷になったことはありません。『あなたたちは自由になる』とどうして言われるのですか。」34 イエスはお答えになった。「はっきりしておく。罪を犯す者はだれでも罪の奴隷である。35 奴隷は家にいつまでもいるわけにはいかないが、子はいつまでもいる。36 だから、もし子があなたたちを自由にすれば、あなたたちは本当に自由になる。

賛美 442 「はかりも知れない」

Depth of mercy! can there be
 詞：Charles Wesley, 1707-1788
 MERCY
 曲：Louis M. Gottschalk, 1829-1869

1 はかりも知れないか、
 2 きょうまで長く招きを拒み、
 3 十字架の上で敵をゆるした
 4 手の傷しめし、み腕をひろげ、
 5 深い恵みに、こころも溶けて、
 悔いて涙し、み腕にすがる。

わたしのおまはるさ
 主イエスのみ名を汚しつけた。
 招きを拒み、歩み続けた。
 手の傷しめし、み腕をひろげ、
 迷う私に、主は呼びかける。

- 1 はかりも知れない 神の恵みよ、
 わたしの罪もゆるされるのか。
- 2 今日まで長く 招きを拒み、
 み顔を避けて 歩み続けた。
- 3 十字架の上で 敵をゆるした
 主イエスのみ名を 汚しつけた。
- 4 手の傷しめし、み腕をひろげ、
 迷う私に、主は呼びかける。
- 5 深い恵みに、こころも溶けて、
 悔いて涙し、み腕にすがる。

説教 『わたしはある』と言われるイエスさま

賛美 432 「重荷を負う者」

I heard the voice of Jesus say
 詞：Horatius Bonar, 1808-1869
 KINGSFOLD
 曲：イギリス伝統編曲

1 「おにもをおうもの、まようものよ、
 2 「かわいているもの、つかれたもの、
 3 「この世のつとめになやむものよ、

だれでもきなさい、ためらわずに。
 だれでもきなさい、ためらわずに。
 だれでもきなさい、ためらわずに。

まねきに、したがいわたしはゆく。
 いのちの主イエスに、わたしはゆく。
 ひかりの主イエスに、わたしはゆく。

なぐさめとへい、わうけるために。
 生きたそのみずを、のみほすため。
 おわりまで、ともにあゆむために。

- 1 「重荷を負う者、迷う者よ、
 誰でも来なさい、ためらわずに」。
 招きに従い 私は行く。
 慰めと平和 受けるために。
- 2 「渴いている者、疲れた者よ
 誰でも来なさい、ためらわずに」。
 いのちの主イエスに 私は行く。
 生きたその水を 飲みほすため。
- 3 「この世の務めに、悩む者よ、
 誰でも来なさい、ためらわずに」。
 光の主イエスに 私は行く。
 終わりまで共に 歩むために。

派遣

司式者 主は言われます。
 「わたしは誰を遣わすべきか。」
 会衆 わたしがここにおります。
 わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメン アーメン

後奏 「われ汝を呼ばわる、主イエス・キリストよ」
 (J.L.クレプス)

司式 岡田 知恵子
 説教 向井 希夫牧師
 奏楽 福原 之織

※お立ちになるのが困難な方は、
 座ったままで礼拝をお守り下さい。